

しゅぶがみ

No.35
2013
SPRING

特 集

福島市のココが好き！

～行って・みて・きてきました～

バラに魅せられて

つながる輪・ひろがる笑顔

～福島市下野寺 佐藤バラ園～



表紙紹介（福島交通飯坂線 曾根田駅）

昭和37年まで電鉄福島駅と呼ばれたこの駅は、かつて運行されていた車両をイメージしたベージュの壁と赤い屋根の駅舎へ、平成22年に改装されました。通勤通学の要所として、朝夕多くの利用客で混雑します。



行って・みて・きいてきました。 福島市のココが好き。

私たちは一人ひとり多様な価値観、考え方を持っています。自分を大切にし、相手の考え方も理解し尊重することは、視野を広げ、活躍の幅を広げることにもつながります。様々な方に、心の中にある「好きな福島市」をお聞きしてみました。回答は十人十色。皆さんも、家族や友人と「好きな福島市」について、話してみませんか？

70代女性・たびたび福島

やっぱりくだもの美味しさは日本一だと思います。あ、さくらんぼ以外はね。
(注、山形の方でした)

20代女性・会社員

100才通りの光のさくが好き。きれいだと思う。それからビルがあってもそこから見る空の色が青い。あと、お店で気軽に声をかけてくれる店員さんが多い。

50代女性・主婦

郡山方面から4号線を通って帰って来る時、伏拝の坂から福島の街並が見えた時、ほっとします。あと、信夫山の鳥が崎から見える景色が好き。

50代女性・パート・福歴20年

吾妻山の種まきうさぎ。初めて教えてもらった時、かわいいと思った。冬から春にうつる時、残雪がうさぎの形に変わっていくのが好き。

50代男性・福歴20年

となり近戸所が、あいさつを交わし、思いやりの心を持っているところ。

50代男性・会社員・福歴30年

中途半端なところかな。都会でもなく、田舎でもなく、そのどちらの生活も楽しめるよ。

40代男性・団体職員

コンパクトにまとまっている。四方を自然に囲まれているから景色が美しいね。人情が厚いから、本当の友だちができる。

60代男性

市街地から30分も行くと、いろんな温泉を楽しめるよ。

40代男性・会社員・福歴17年

荒川河川敷公園の桜は最高。

20代男性

鳥が崎はデートコースのひとつ。

40代女性・パート・福歴25年

県立美術館奥の日本庭園が好き。あずまやがあって新緑や紅葉がステキ。

県立美術館

(いちょう並木)

10代女子・高校生

稻荷神社の秋祭りが好き。楽しいから。

30代女性・パート・福歴2年

十六沼公園はスポーツができるし、そのほかにも楽しめます。

20代男性・学生

競馬場は夜のイルミネーションがきれいだよ。

60代男性

花見山は桃源郷だね。

50代女性

花見山が好き。季節を感じる。

70代女性・自営

わるくいえば発展性がないといえるのかも矢口ね。いいけど、その、やっぱりしたのんびりしたところが好き。

30代女性・パート

子供が喜ぶので〜。岡部のハクフォウ。

途中で福島です。

福歴 = 福歴

生まれてからずっと福島です。

大震災以来「福島に住んでいる」という事と、いやおうなく向き合わなければならなくなった私達です。あたりまえに過ごしていた日常が、どんなにありがたいものかを考えさせられた時でもあったように思います。みんなの心の中にある「好きな福島市」を様々な方にお聞きしました。その結果、福島生まれの方も、そうでない方も、好きな点に大きな差はありませんでした。多くの方に共通していたのが「食べ物」特に「果物がおいしい」「自然が美しい」そして「穏やかな人間性」でした。福島の良さを再認識し、元気な一歩を踏み出すためのビタミン剤になればと願います。あなたの好きな福島市はどんな街ですか？

☆ イラストの中にうさぎ(雪うさぎ以外)1匹、猫1匹、犬2匹、たぬき1匹、UFO1基がいます。どこかな？



バラに魅せられて つながる輪・ひろがる笑顔

バラから始まった仲間の輪。福島市下野寺の梨農家で、自宅のバラ園を公開されている佐藤さんご夫妻を訪ねました。家族や地域、友人とともにバラ園を育て、喜びを分かち合う様子を伺いました。

バラ栽培を始めた

きつかけを教えてください。

とも子さん 十八年程前に実家からバラ苗を二、三本もらい、挿し木で増やしてきたことが始まりです。

吉則さん 私は、妻がバラを育てているのは知っていました。十年程前のある日、ふと庭でバラの香りに気づき、心を奪われてしまいました。私は梨農家なので、消毒も肥料も合っていて栽培しやすいです。今では、夫婦で協力し合い、バラ作りに取組んでいます。オールドローズをはじめ、モダンローズ、イングリッシュローズ、フレンチローズなど品種が毎年増え続け、約五〇〇種、千株以上を育てています。



入口に立て札がありました。福島市花のまちチャレンジガーデンに認定されています。

吉則さん 元々は、いわき市や宮城県のおープンガーデンの会員同士が庭を見る会に参加していて、自分達のバラ園も作りたいと考えていました。

平成二十一年に福島市花のまちチャレンジガーデンの認定を受けて、一般の方へ公開したところ、インターネットやクチコミ、新聞やテレビ等での紹介もあって、バラ好きな方達が沢山訪れるようになりました。

今では、お二人の共通の趣味ですね。

とも子さん 毎朝、二人でバラ園を散歩します。花の生育具合や色ツヤ、咲きどき等を話しながら、花が咲いたときの喜びを共有できることが魅力です。

園内には様々な図柄の

ツールペイントが沢山ありますね。

とも子さん 四年程前から、見よう見まねで作りはじめました。

梨収穫後の冬場は、家の中にブルーシートを敷いて絵の具を裏表何層にも塗り重ねて、バラの花の他に犬や猫等、自己流で描くようになりました。



バラ園と梨園の両立について

ご苦労はありますか。

お二人 本業はあくまで梨作りです。趣味が高じて広げたバラ園への来園者が年々増え続けて、バラ園の手入れと管理が忙しくなってきました。トゲのあるバラの剪定のほかに、一番頭を悩ませているのは駐車場の確保です。今年はいくつかの方にバラを楽しんでいただきたくて、イグネ（屋敷林）を伐採して、駐車場の確保しました。

また、バラ開花のピーク時は、近所やバラ好きの方が、ボランティアで駐車場の誘導や草むしり、花ガラ摘み等も手伝ってくれて、とても助かり感謝しています。バラ作りを通してできた友人（バラ友）の輪も大きく広がりました。

お二人の男女共同参画について

吉則さん お互いの意思を尊重し、意見を出し合いながら役割分担を決めて、仕事をしています。
とも子さん 共通の趣味であるバラをお互いに追求し合いながら、バラ園を作っています。お互いの気持ちを理解し合うことが大切だと思います。

《取材を終えて》

あくまでも梨作りが本業なので、バラ作りは趣味とのことですが、バラに夢中な様子が取材中伝わってきました。

また、にこやかで仲睦まじいお二人にほのぼのとした気持ちになりました。数本のバラから始まったお二人のバラ園は、たくさんの友人や協力者の輪をつなぎ、来場者の笑顔を生み出しています。笑顔のコミュニケーションの大切さも感じました。

「佐藤さんからのお知らせ」

開花時期の六月は大変混み合います。

駐車場には限りがありますので、バス等の公共交通機関もお勧めします。（笹木野原バス停下車南へ徒歩九分）

介護施設等のバスで来園される方は、事前にご連絡いただければ、駐車場を確保しますのでご連絡ください。

電話 024(591)1661



編集会議に初めて参加しましたが、実にテンポよく、小気味良く物事が決まってゆき、楽しく作業できました。

現実の福島市にすっかり寄り添ってささやかな幸せを見つけて生きようと『福島市のココが好き』を特集しました。愛される福島市がこんなにもありました。わが街福島市を再認識して、もっともっと元気になりましょう。

また、福島市は復興に頑張っているという紙面づくりが出来て、嬉しく思います。

これからも福島市の取組みで応援できるものには、参加していきたいと思いました。

編集

しのびあ編集委員会

- 加藤 幸枝 斎藤 尚理
- 佐藤 映枝 佐藤 裕子
- 牧野 弘 松本 恵
- 宮澤てつ子

表紙：切絵作家 さとうてるえ

※「しのびあ」は市政だより折込のほか、各学習センターなど市の窓口においてあります。

また、市のホームページでもご覧いただけます。

